

リモートワーク用などのVDI環境を

シンプル

&

低価格

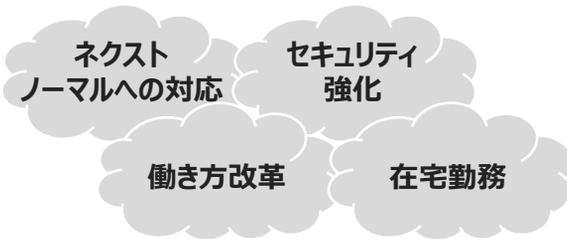
で実現

柔軟な働き方や生産性向上を支援する

Pure Storage のフラッシュストレージ

社会的な背景

企業におけるVDI利用が激増



前年との比較
+12.7%

40.4%

2021年の導入率

出典：<https://www.idc.com/getdoc.jsp?containerId=prJPJ47557221>

VDI環境への再投資が旺盛

しかしVDIが普及するにつれて…

VDI活用の課題

ネットワーク環境の増強/増設

GPU/コンピュート・リソースの確保

ストレージ・リソースの最適化

「ユーザーから“なんだかVDIが遅い”とよく言われる」
 「万が一システムダウンした場合の影響範囲が甚大」
 「Windowsアップデートは分割して実施している」
 「VDIのクローン作成に時間がかかる」
 「設定変更後のイメージ再構成が、週末で完了できるか心配」
 「バックアップに時間がかかりすぎる」

VDIにおけるストレージの課題

1

コスト

システムの約3分の1が
ストレージ

2

応答速度

ユーザーエクスペリエンスの維持・向上

3

持続性

サービスの継続、
環境配慮

4

柔軟性

拡張性や
可用性への対応

5

セキュリティ

外部脅威に
対する防衛

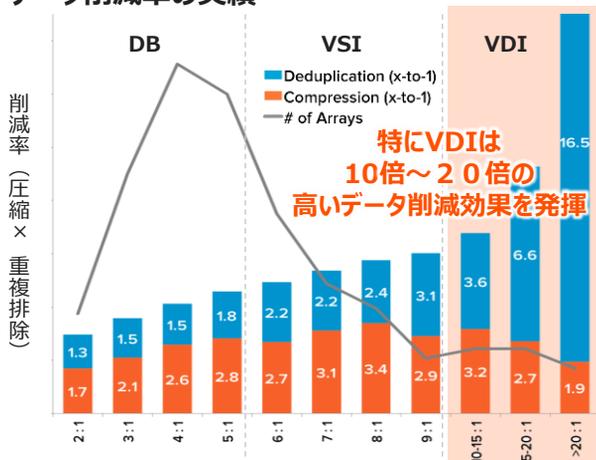
Pure Storage の

オールフラッシュソリューションが解決

Pure Storage のソリューション

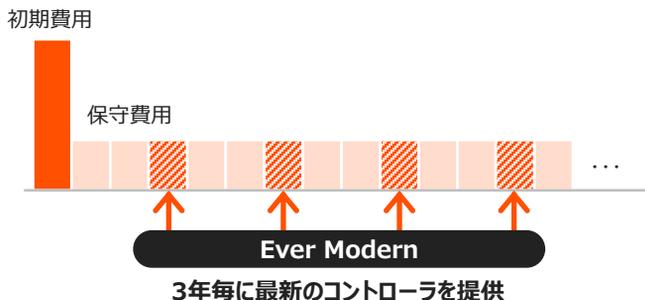
1 コスト

データ削減率の実績



独自保守Evergreenでコスト削減

- EOSLがなくストレージ更改が不要
- 最新のコントローラ交換で最新のテクノロジーに追随
- 保守費用のみで、永続的な利用が可能
- 保守切れ対応や更改コストが不要



2 応答速度

高いパフォーマンスでLarge IO & 書込に強い

- 可変長のブロックサイズ処理で高速化
- 処理回数が最適化されるため、書き込み性能も非常に高い

低レイテンシ

- サービスレベルに影響するアプリケーションへの応答速度を細かくコントロールすることで1msec以下を実現

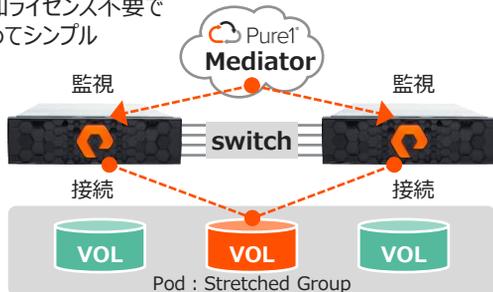
VDIに
ありがちな

「動作が遅い問題」が発生しにくい！

4 柔軟性

同期レプリケーション : ActiveCluster

- ゼロRPO、RTO
- アレイ単位の障害時にもサービス影響なしにfailover、復旧時も自動的に再同期
- 追加ライセンス不要で極めてシンプル



3 持続性

アップタイム : 可用性99.9999%

- 冗長化されたモジュール型のアーキテクチャにより、メンテナンスや障害発生時でもサービスに影響なし

ESG : 持続可能なITのためのストレージ

- 高集積によりラックスペース削減
- 低消費電力により冷却コスト削減
- 部品数の削減と長い耐用年数によって長期間にわたり電子廃棄物を削減

変化の激しいITにおいて環境にも配慮

5 セキュリティ

ランサムウェア対策 : SafeMode

- 削除されたファイルを指定した期間保持
- 管理者権限でも削除不可
- オールフラッシュなので感染前のデータを即時復旧可能

